



国際原子力機関(IAEA)「原子力問題と IAEAに関する国際世論」について

平成18年1月25日



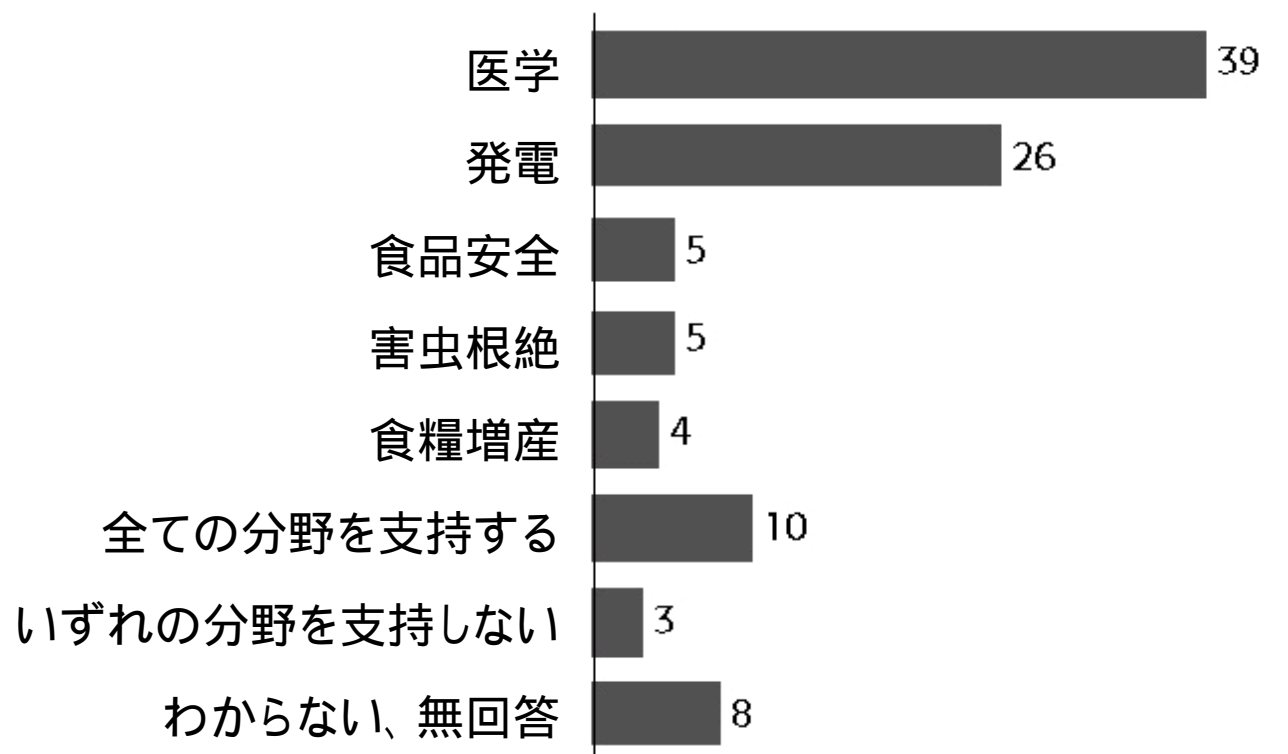
IAEAによる意識調査について*

- 国際原子力機関 (IAEA) は18のIAEA加盟国における原子力技術利用に関する意識調査の結果をとりまとめた。
- 2005年12月に報告書「原子力問題とIAEAに関する国際世論」を発表
 - 18カ国の国民1万8965人を対象に2005年5～8月にかけて実施
- その中で、医学、発電、食品安全等、原子力科学技術の利用分野毎の支持率が紹介されている。

* : IAEA, “Global Public Opinion on Nuclear Issues and the IAEA,” 2005

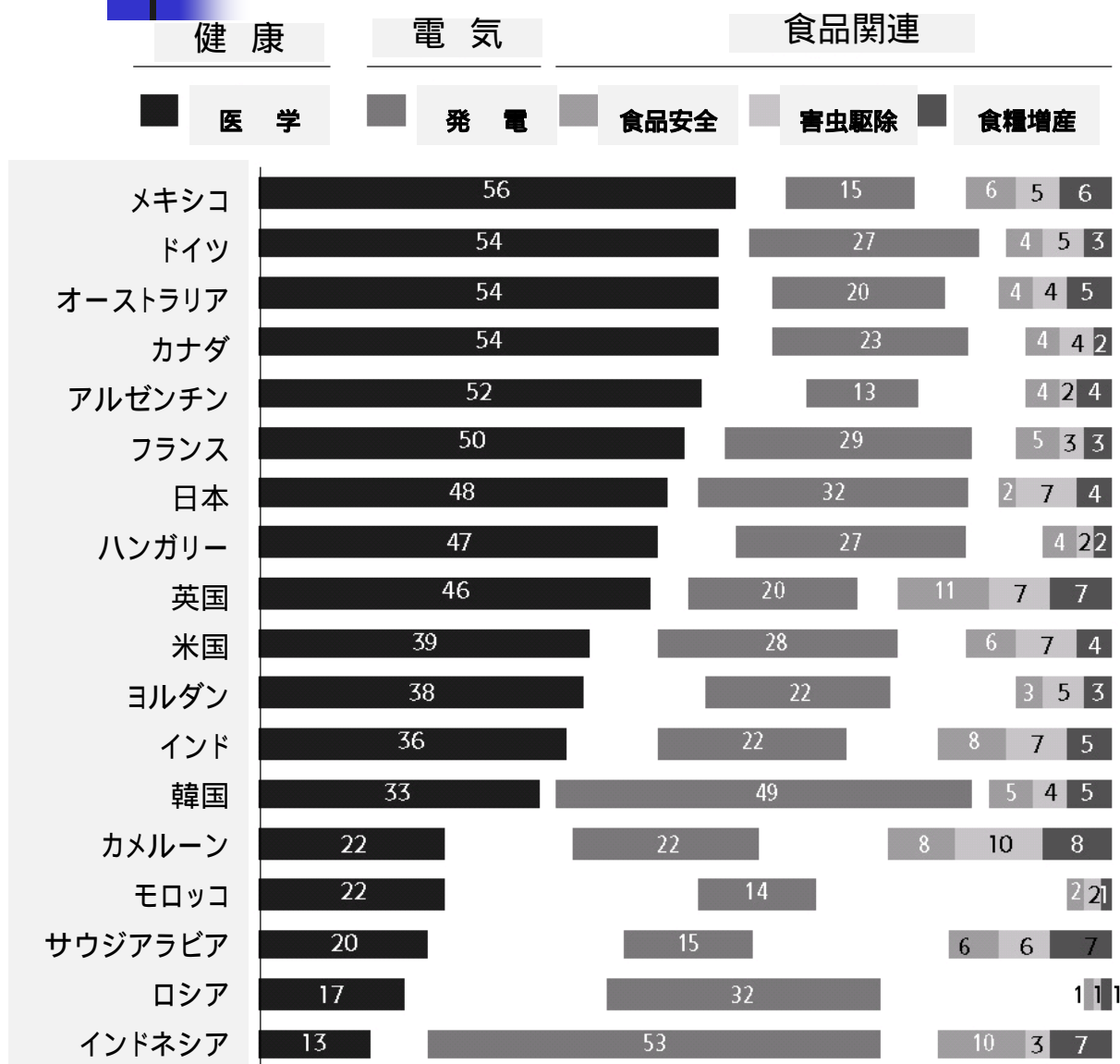
原子力科学技術の利用分野毎の平均支持率*

18カ国の平均では、最も支持率が高い分野が医学、次に発電、以下、食品安全、害虫根絶、食糧増産となった。
(食品照射は、ここでは食品安全として示されている)



*: IAEA, "Global Public Opinion on Nuclear Issues and the IAEA," 2005

原子力科学技術の利用分野毎の国別支持率*



白スペースは、「わからない」、無回答、「全てを支持」、「いずれも支持しない」

- ◆ どの国も、医学や発電への支持率が高い。
- ◆ 食品関連分野への支持率は発電への支持率より低い場合が多い。

*: IAEA, "Global Public Opinion on Nuclear Issues and the IAEA," 2005